

華麗で迫力溢れるパフォーマンスで世界を震わせた
あのサリル・バット氏が、再来日！

連綿と続くインド古典音楽の血族の末裔による
500年以上続く伝統と革新の演奏

グラミー賞を受賞した楽器を更に進化させた
サトヴィック・ウィーナを聴ける貴重な5ステージ！



インド政府文化関係評議会 I C C R 登録
サリル・バット ジャパンツアー 2017

Salil Bhatt

Japan Tour 2017

5/19-21伊豆 5/23静岡 5/25岐阜 5/27京都 5/28愛知

主催	インド古典音楽センター 沙羅双樹	ご予約・お問い合わせ	satvikveena@gmail.com (担当・松久)
後援	TIRAKITA / Namaste! Group		

Salil Bhatt

Japan Tour 2017

Tantree Samrat Pt Salil Bhatt / サトヴィック・ヴィーナ

インド古典音楽は祖父から父へ、父から子へと引き継がれる芸術だ。今回招聘したサリルバット(Salil Bhatt)は500年以上続くインド古典音楽一家の10代目であり、グラミー賞を受賞したインドの至宝ヴィシュワ・モハン・バット(Pt.Vishwa Mohan Bhatt)の息子である。父であるヴィシュワ・モハン・バットが創作したモハン・ビーナ(Mohan Veena)を、彼の演奏スタイルに合わせ、深さ、豊かさ、響きをさらに進化させたサトヴィック・ヴィーナ(Satvik Veena)という新しい楽器を創り出した。父親の叙情的でエモーショナルな演奏の対極を行くような、ソウルフルでダイナミックな演奏はインドの人々を驚嘆させるだけでなく、世界40カ国に響き渡り、ジャンルを超えたミュージシャンとの国際的コラボレーションも数多く、世界的にニューエイジインド音楽家として認められている。2017年初夏、500年の伝統を引き継ぐサリル・バット氏の再招聘が実現。世代を超えて楽器からクリエイティブし続ける、唯一無二のインド古典を、ぜひこの機会に体感して欲しい。

■演奏歴

1997年エリザベス女王訪問記念式典にインドで出演。
2001年アタルビハール首相とパキスタンの大統領との首脳会談にインドで出演。
2005年インド・ドイツの文化交流500年記念式典にてドイツ、ミュンヘンで出演。
2005年インド博士アブドゥル・カラーム大統領とアイスランドの首相と議会の式典にインド人で初の出演。
2006年台湾の学生に音楽を提供し、また台湾のアボリジニ歌手と共演。
1995年と2005年のアジア音楽サーキットツアーでイングランド、スコットランド、アイルランド、ウェールズで広範囲に出演。
2007年アテレードでオーストラリア最大の国際ギターフェスティバルに出演。
2007年アメリカでシカゴワールド・ミュージック・フェスティバルに出演。
2008年カナダでカナダ放送協会CBCラジオ出演。バンクーバーフォークフェス、バンクーバー島ミュージックフェス、カルガリーフォークフェス、エドモントン民俗祭り、ウィニペグ民俗祭り、グエルフ音楽祭、キャンモア民俗祭り、オタワ民俗祭り、カナダのすべての国際フェスティバルに出演。
2016年来日。



Kaushik Konwar/タブラ

アッサム地方出身のタブラプレイヤー、コウシク・コンワールはインドでその名を知られたシタールプレイヤー、インドラ・コンワールの息子である。サリル・バットにも見られる父から子へと引き継がれる音楽の伝統は、この家でもやはり健在。インド人にとって、インド音楽とは限られた血族の音楽なのだろう。アッサム地方の音楽家の一族に生まれたコウシクは幼少期より、シタールとタブラを練習してきた。父親に基礎を叩きこまれた後、ラヴィ・シャンカールのタブラプレイヤーとしても知られるシャンカル・コーシュに14年間師事。北インド古典だけでなく、南インド古典のリズムをG.Surya Narayan Iyerに師事。ラビ・シャンカールの弟子であるカルティック・クマールと、ティンバック・チョウドリーのアカンパニを務める。タブラだけでなく、カホンやジャンベ、ダラブッカ、ムリダンガムなど多種多様な打楽器を自在に操るリズムの達人である。インド古典の洗練された技法を身につけ、その技を更にワールドワイドに発展させたパーカッションの技は世界中の人々を虜にしている。

■演奏歴

SAPTAK MUSIC,Ahmadabad・Bhavanipur Sangeet Sammelan,Kolkata・All Assam Music Conference・Hadra Bhuwana Utsav・Helsinki Universal Guitter Festival JZ Jazz Festival・その他多くの著名アーティストと共演



南沢靖浩/シタール

1986年よりスラワニ・ビスワス博士に師事。渡印を重ね北インド古典音楽を学び、日本やインドでの演奏活動を展開する。2006年ベナレスにて、打楽器タブラの巨匠アシュールパパーのメモリアルコンサートに出演。他のジャンルの音楽や舞踏家とのセッションもおこない、民族楽器を駆使したユニット「天空オーケストラ」のメンバーとして活動する。福井県小浜市明通寺国宝本堂、奈良東大寺手向山八幡宮、奈良霊山寺国宝本堂など、神社仏閣にて奉納演奏を行なっている。
<http://sitar-minamizawa.jimdo.com/>



gumi/バンスリー

2006年より毎年渡印し、バラナシにてインド古典音楽やバンスリー(横笛)をはじめ。2008年からCarlos Guerra氏より、2012年よりPt.Ajay Prasanna氏からバンスリーを師事。バンスリーの師匠のみならず、音楽のPt.Devashish Dey氏、シタール奏者のSri Dhurvanath Mishra氏にも師事し、様々なスタイルの古典音楽からバンスリーを学ぶことにより、幅の広い演奏を研究している。2013年『When it Blooms』を初のリーダーアルバムとして発売。2015年には、ピアニスト岸本良平氏とデュオ作となる『Just So...』を発売。2017年世界的ピアニストArcio氏と共演。メディアなどで取り上げられる。Namaste!Group主宰、キールタンイベント・Heart Gathering***主宰。
[gumiオフィシャルWebsite : <http://www.gumi-bansuri.com/>]

矢野司空/尺八

1949年神戸生まれ。高校時代より尺八を始める。広島大学で邦楽部に所属し都山流尺八を学ぶ。大学中退後上京し横山勝也師に琴古流尺八および海童道曲を学ぶ。NHK邦楽技能者育成会第16期卒。その後、出家し浄土宗僧侶となる。イギリスなどヨーロッパ諸国・アメリカ・中国・韓国など世界各地で公演。NHK教育テレビ「こころの時間」などテレビ・ラジオに出演。CD「迦羅」「波羅」(ピアノとのコラボ)「快樂之音」(尺八説法)「静かな月」(等とのコラボ)



ツアー日程

5/19(金)-21(日)伊豆

Dance of Shiva/オートキャンプ銀河
静岡県賀茂郡西伊豆町一色1986-1
<https://www.facebook.com/tirakita.danceofshiva/>

5/27(土)京都

京都トコ会館
京都市中京区両替町通竹屋町下る松竹町136番
開場13:30 / 開演14:00
前売り3500円/当日 4000円
special guest opener

南沢靖浩
gumi x Kaushik Konwar

5/23(火)静岡

Zentra yoga kutir & karma cafe
静岡県焼津市本町2-16-45
開場18:30 / 開演19:00
前売り3000円/当日 3500円

5/28(日)愛知

谷性寺
愛知県知多郡阿久比町宮津宮本73
開場14:00 / 開演15:00
前売り3000円/当日 3500円
special guest opener

矢野司空

5/25(木)岐阜

ラサマンダ
岐阜市此花町6-12 (このはなちよう)
開場18:30 / 開演19:00
前売り3500円/当日 4000円
(お茶付き)

ご予約・お問い合わせ先
satvikveena@gmail.com
090-2577-2643(松久浩之)
ご予約は会場名、お名前、人数を入れてお送り下さい。
料金は各会場でお支払い下さい。